

年間授業計画【新様式】

高等学校令和6年度（2 学年用）教科 保健体育 科目 保健
教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年
教科担当者： 高橋 あゆほ
使用教科書： （ 「現代高等保健体育」 （大修館書店） ）
教科 保健体育 の目標：

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	3 単元 生涯を通じる健康 生涯にわたって健康に生きていくために、生涯の各段階と健康の関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現することができる。	3-1「ライフステージと健康」 ・ライフステージと健康の関連について ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について	【知識・技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体的・心理的・行動的な変化について理解するとともに異性について理解している。	○	○	○	1
		3-2「思春期と健康」 ・思春期における男女の体の変化について ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について	【思考・判断・表現】 思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理しようとしている。				1
		3-3「性意識と性行動の選択」 ・性意識の男女差について ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて	【主体的に学習に取り組む態度】 各ライフステージの健康、思春期における体と心の変化について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				1
		3-4「妊娠・出産と健康」 ・妊娠、出産の過程における健康課題について ・妊娠、出産期に活用できる母子保健サービスについて	【知識・技能】 心身の発達や健康の保持増進の観点から結婚生活を理解していることを言ったり書いたりしている。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解していることを言ったり書いたりしている。	○	○	○	2
		3-5「避妊法と人工妊娠中絶」 ・家族計画の意義と適切な避妊法について ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について	【思考・判断・表現】 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理しようとしている。				2
		3-6「結婚生活と健康」 ・心身の発達と結婚生活の関係について ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について	【主体的に学習に取り組む態度】 性的成熟に伴う身体的・精神的変化を正しく理解するために主体的に取り組もうとしている。結婚生活に伴う健康課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				1
		3-7「中高年期と健康」 ・加齢にともなう心身の変化について ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて	【知識・技能】 中高年期を健やかに過ごすための自己管理や生きがいを持つこと、運動やスポーツに取り組むこと等を理解していることを言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
			【思考・判断・表現】 中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策についてノートに記述したり、筋道を立てて説明している。				
			【主体的に学習に取り組む態度】 中高年期の課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				

定期考査・復習			○	○		2
3 単元 生涯を通じる健康 生涯にわたって健康に生きていくために、生涯の各段階と健康の関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現することができる。	3-8「働くことと健康」 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて ・働き方や働く人の健康問題の変化について	【知識・技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するためには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要なことを理解し、言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
	3-9「労働災害と健康」 ・労働災害の種類とその原因について ・労働災害を防止するために必要なことについて	【思考・判断・表現】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて個人の取組と社会的対策を整理しようとしている。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用しようとしている。				2
	3-10「健康的な職業生活」 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて ・余暇を積極的にとることの意義について	【主体的に学習に取り組む態度】 労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				1
4 単元 健康を支える環境づくり 健康の保持増進には、個人の力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深く関わっていることを理解し、これらの課題の解決に向けて思考・判断・表現することができるようにする。	4-1「大気汚染と健康」 ・大気汚染の原因と健康への影響について ・大気にかかわる地球規模の健康問題について	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることを理解し、言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、適切に処理したりすることが必要であることを理解し、言ったり書いたりしている。 ・環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の生活を守るために行われていることを理解し、言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
	4-2「水質汚濁、土壌汚染と健康」 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響について ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生について	【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病などのリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法について説明しようとしている。				2
	4-3「環境と健康にかかわる対策」 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について ・産業廃棄物の処理について	【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				2
	4-4「ごみの処理と上下水道の整備」 ・ごみの処理の現状やその課題について ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題について					1

2・3 学期		4-5「食品の安全性」 ・食品の安全性と健康のかかわりについて ・食品の安全性に関する今日的課題について	【知識・技能】 食品の安全性を確保するために、法律等が制定されていて、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることを理解し、言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上などと解決方法を関連付けて考えて説明しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについて自他や社会の課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
		4-6「食品衛生にかかわる活動」 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について ・食品の安全性を確保するための個人の役割について					1
	定期考査・復習			○	○		2
	4 単元 健康を支える環境づくり	4-7「保健サービスとその活用」 ・保健行政の役割について ・保健サービスの活用について	【知識・技能】 ・我が国の人々を支えるための保険・医療制度を理解し、言ったり書いたりしている。 ・医薬品（医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品）の有効性や安全性を理解し、言ったり書いたりしている。又、副作用についても理解している。	○	○	○	2
	健康の保持増進には、個人の力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深く関わっていることを理解し、これらの課題の解決に向けて思考・判断・表現することができるようにする。	4-8「医療サービスとその活用」 ・わが国における医療保険のしくみについて ・さまざまな医療機関の役割について	【思考・判断・表現】 ・疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上などと解決方法を関連付けて考えて説明しようとしている。 ・医薬品の販売規制などを理解し、生活の質の向上について考えて説明しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについて自他や社会の課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				2
		4-9「医薬品の制度とその活用」 ・医薬品の正しい使用方法について ・医薬品の安全性を守る取り組みについて	【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについて自他や社会の課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				2
		4-10「さまざまな保健活動や社会的対策」 ・国際機関・民間機関などの保健活動について ・行政機関による社会的対策について	【知識・技能】 我が国の健康課題に対する各種の保健活動や社会的対策を理解し、言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 地域の保健・医療機関の活用方法について、関連した情報を整理し、生活の質の向上にむけた課題解決について考えて説明しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについて自他や社会の課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
		4-11「健康に関する環境づくりと社会参加」 ・健康の保持増進のための環境づくりについて ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることについて					1
	定期考査・復習			○	○		2
							合計
							35